

楽樹MJ型

取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味


警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。


注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号


ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。


補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>


警告

- 本柵は、歩道、自転車専用道路、自転車歩行者専用道路および歩行者専用道路などで、歩行者等の路外への転落防止と、横断防止を目的にしたP種防護柵です。設置の場所・目的に合わせて選択してください。


注意

- 正しく施工，組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。
- 部材変形防止のため、製品保管状況を確認してください。
 - ・当製品は、木粉入りポリエチレン樹脂でできており、熱変形することがあります。取扱いには十分ご注意ください。
 - ・暖房機、焚き火近くの高温になる場所には保管しないでください。
 - ・製品上に重量物を長時間重ね置きしないでください。
- 人工木材内部の色の違いによる性能の違いはありません。
- 設置場所を確認してください。
 - ・製品に熱排気が直接当たる場所には施工しないでください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
- 必要部材が揃っているか確認してください。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- 製品の改造は絶対に行わないでください。
- 施工中の汚れは取り除き、アルミ材表面に誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。
- 施工中についた樹脂表面のすりキズは、引き渡し前に研磨紙で補修してください。表面研磨する場合は、事前の研磨方向に沿って（平行）行なってください。
- 施工中についた樹脂表面の汚れやシミは、引き渡し前に水洗い等してください。中性洗剤を薄めたものを使用した場合は、よく水洗いをしてください。

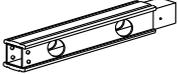
<基礎工事について>

⚠ 注意

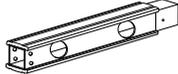
- 基礎寸法は、取付説明書のと通りの寸法にしてください。地盤の種類によっては、倒壊のおそれがあります。
- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

■ 梱包明細書

① 中間柱セット

名称	略 図	員 数
中間柱		1

② 端部柱セット

名称	略 図	員 数
端部柱		1
補修用研磨紙A		4
取付説明書	—	1

③ トップビームセット

名称	略 図	員 数
トップビーム		1

④ ビームセット

名称	略 図	員 数
ビーム		1

⑤ 支柱ブラケットセット

名称	略 図	員 数	
		中間用	端部用
支柱ブラケット		4	2

⑥ トップビームブラケットセット

名称	略 図	員 数
トップビームブラケット(上)		1
トップビームブラケット(下)		1
トップビームブラケット(台座)		1
⑥-① M8×16六角丸頭ボルト		4
⑥-② M8×50六角丸頭ボルト		2
⑥-③ M8平座金		6
⑥-④ M8バネ座金		6
⑥-⑤ M12×35六角ボルト		1
⑥-⑥ M12バネ座金		1

⑦端部キャップセット

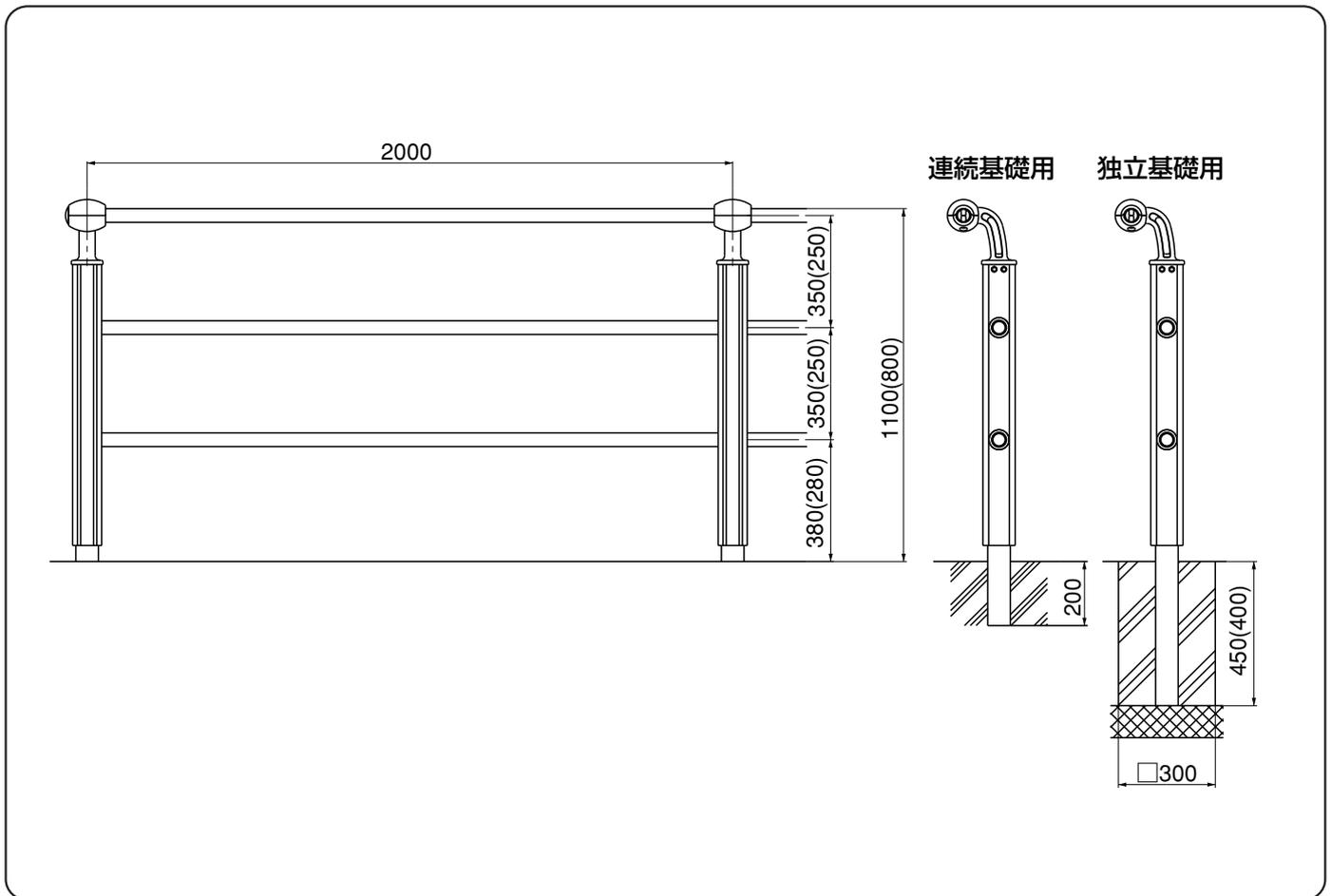
⑧ストッパーセット

名 称	略 図	員 数
端部キャップ		1

名 称	略 図	員 数
ストッパー		1

1. 基本寸法および施工図

※ () 内寸法はH:800の場合です。
 ※基礎寸法は、P種防護柵の設置基準を参考にしたものです。



2. ビームの取付け

2-1 水平な場所での取付け

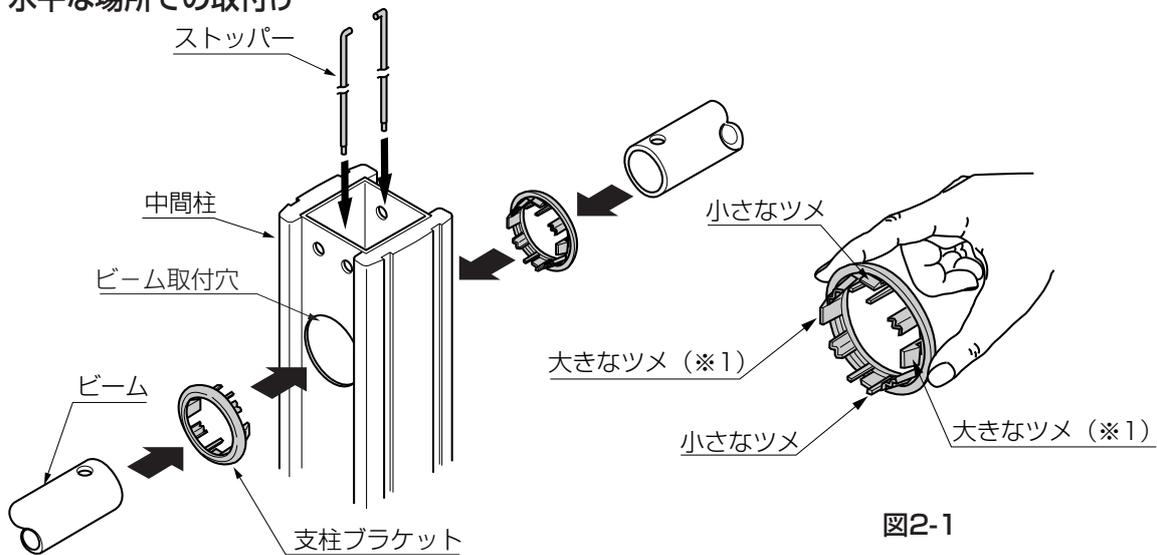


図2-1

- ❶ 支柱は、ビーム取付穴が通りを向くように、立ててください。
- ❷ 支柱ブラケットの大きなツメ (※1) が水平になるように、ビーム取付穴にはめ込んでください。(図2-1)
- ❸ ビームを支柱ブラケットに差し込み、ストッパーをビームにしている取付穴に差し込んでください。

補足

- 支柱ブラケットは、大きなツメ (※1) が水平、小さなツメが上下方向になるようにして、確実にビーム取付穴にはめ込んでください。

2-2 傾斜地での取付け

特注

※傾斜が13°～24°の場合は、傾斜用の支柱ブラケットを使用します。

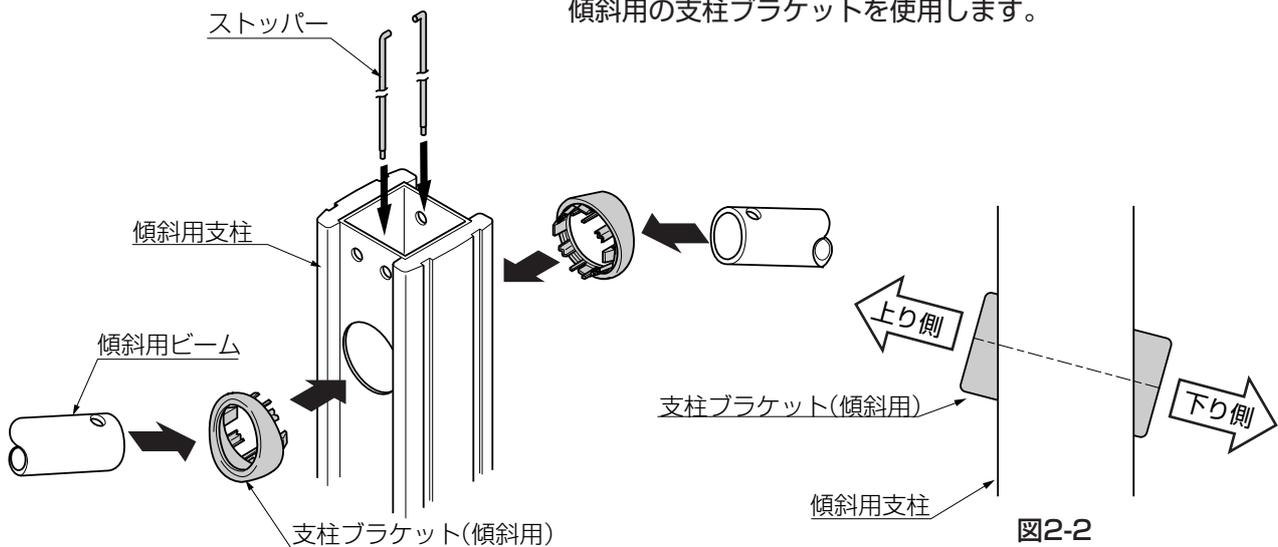


図2-2

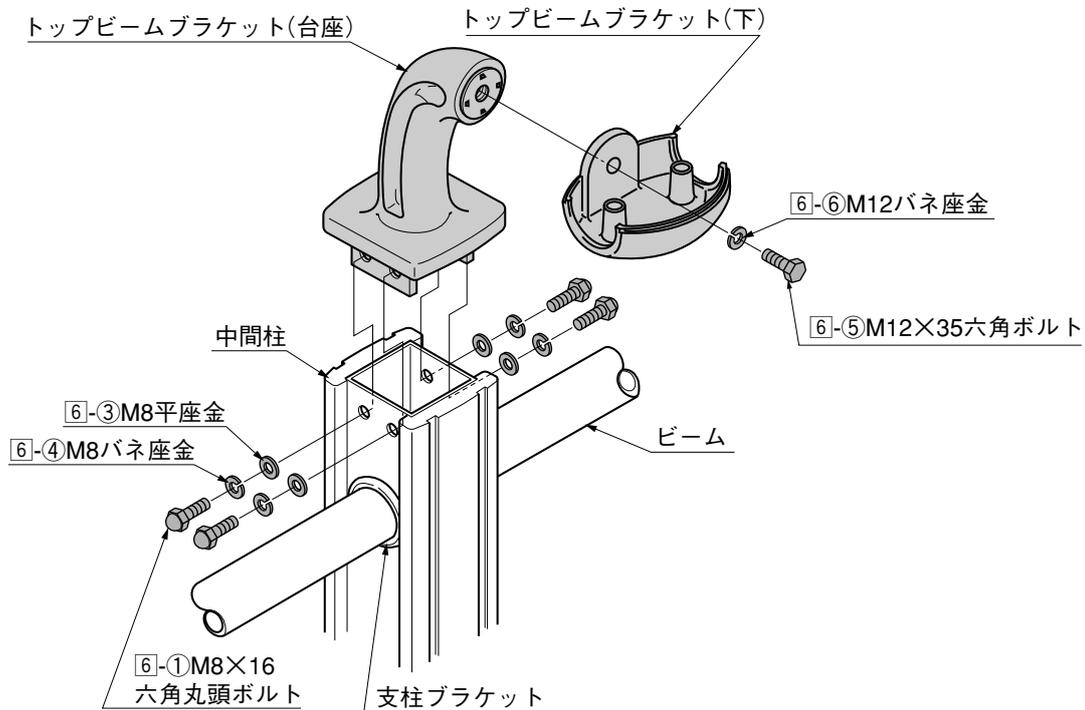
- ❶ 「2-1 水平な場所での取付け」と同様にビームを取付けてください。

補足

- 傾斜の場合支柱ブラケットの取付けは、図2-2のように上り側は上向きに、下り側は下向きにします。

3. トップビームの取付け

3-1 トップビームブラケットの取付け



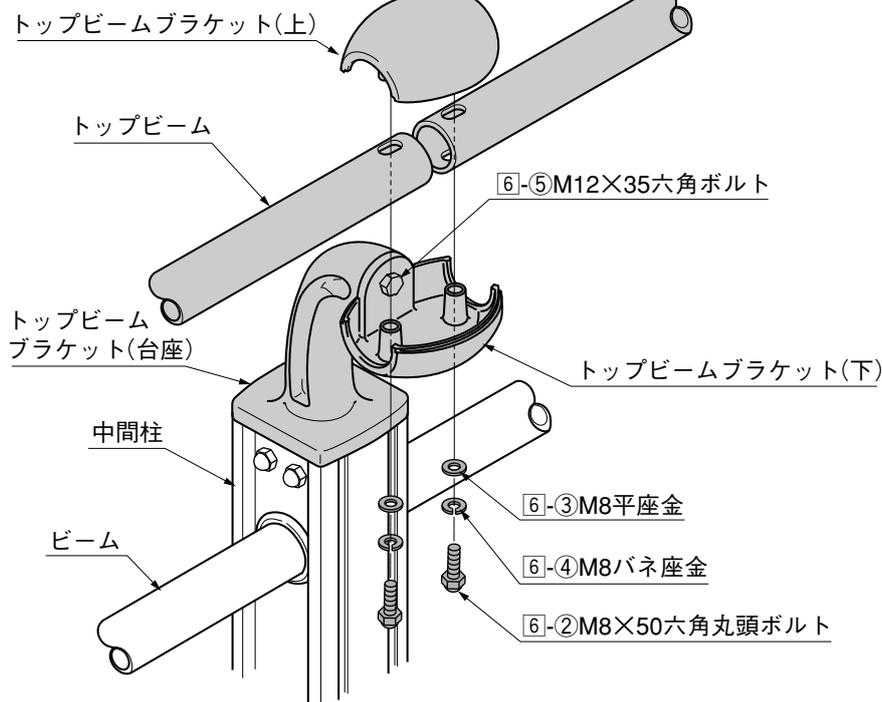
- ① トップビームブラケット（台座）を[6]-①、[6]-③、[6]-④で固定してください。
- ② トップビームブラケット（下）を[6]-⑤、[6]-⑥で仮止めしてください。

補足

- 傾斜地に施工する場合は、トップビームブラケット（下）の角度を調整してください。

3-2 トップビームの取付け

(1) 中間部



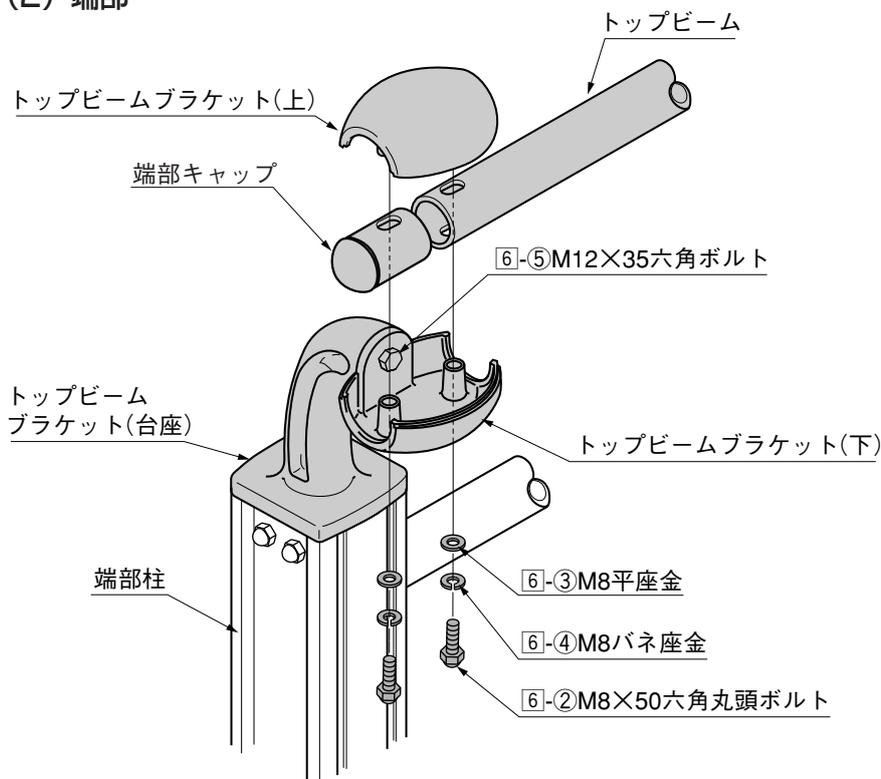
- ① トップビームをトップビームブラケット（下）にセットしてください。
- ② トップビームブラケット（下）を仮止めた[6]-⑤をガタつきのないように確実に締めつけてください。
- ③ トップビームブラケット（上）を、[6]-②、[6]-③、[6]-④で確実に固定してください。
- ④ レベル・通りを調節し、コンクリートで固定し、完全に硬化するまで養生してください。

ポイント

- 傾斜地に施工する場合は、トップビームをトップビームブラケット（下）にセットした時に、再度角度を微調整してください。

3. つづき

(2) 端部

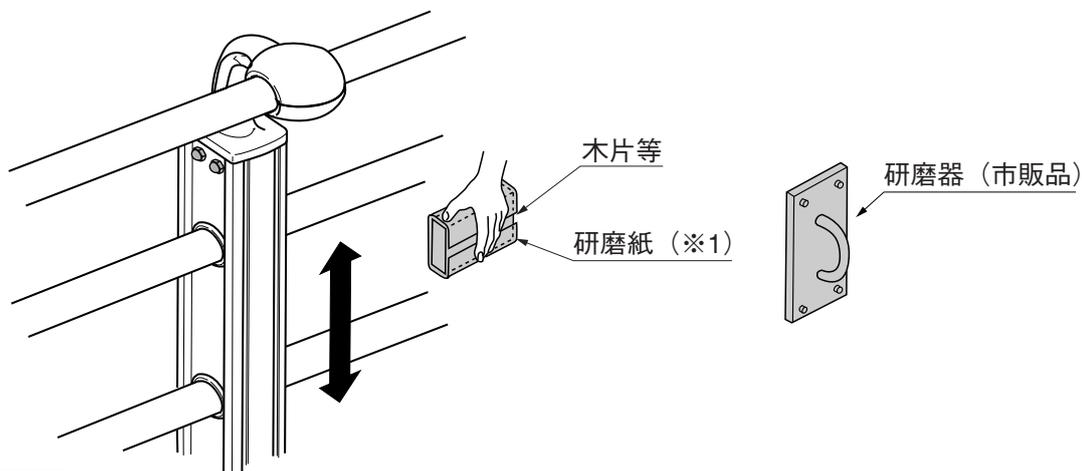


- ① トップビームと端部キャップをトップビームブラケット（下）にセットしてください。
- ② トップビームブラケット（下）を仮止めした⑥-⑤をガタつきのないように確実に締めつけてください。
- ③ トップビームブラケット（上）を、⑥-②、⑥-③、⑥-④で確実に固定してください。
- ④ レベル・通りを調節し、コンクリートで固定し、完全に硬化するまで養生してください。

ポイント

- 傾斜地に施工する場合は、トップビームをトップビームブラケット（下）にセットした時に、再度角度を微調整してください。

4. 施工後の仕上げ



ポイント

- 施工後、表面に付いたすりキズは取付説明書に同梱してある研磨紙で補修してください。
- 1ヶ所を集中的に擦るのではなく、全体をぼかす感じで磨いてください。
- 平らな部材を研磨紙の裏から補助的に添えて、研磨紙面をフラットに当てるようにしてください。（※1）
- 部材の研磨方向に沿って擦ってください。
- 製品お引き渡しの際は、お客様に研磨紙による補修方法について説明をしてください。

補足

- 市販の研磨器等（研磨紙を取付ける器具）をお使いいただくときれいに仕上げることができます。
- 市販の研磨紙を利用する際は、80番の研磨紙をお使いください。

メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

取説コード

C283

NCQ822754A
200111A_1005
202404B_1049